

事業者向け放課後等デイサービス評価表 結果

公表日 令和5年1月29日 回収率100% 8名分

領域	番号	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点や改善へ向けての手立て
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1	0	・個室や庭なども活用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	0	0	・職員の休みや子どもの状況に合わせた調整は必要。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	4	1	・スロープはあるが、バリアフリー化の配慮については必要最低限である。

業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	0	0	・職員会議をし、意見交換しながら支援計画など立てている。・ヒヤリハットや行事の振り返り、実践の反省など毎朝の職朝や週一回の職員会議で話し合っている。・定期的な会議開催、職朝で話をする時間を設けている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	1	0	・年に1回は第三者評価委員会を開催し、外部の方から意見をいただいている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	・各職員に対し、研修の機会を設けると共に月に1回は非常勤職員も含めて支援ケースの検討を行っている。また、事業所内で研修の企画・実践も行っている。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	・定期的に面談を行い、ニーズや課題の把握に努め、計画に活かしている。・日頃の帰りの迎え時など保護者と情報交換する事を大事にしている。また学校の先生とも支援の状況を共有するやりとりを行いながら計画作成、見直しに生かしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2	0	・活用はしているが、取り直すタイミングの再検討が必要。・定期的に見返し、より活用していけるようにしたい。・様式はあるが、より支援場面の工夫や改善につなげられるような利用、活用に努めたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	・職員全体で意見交換しながら活動している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1	0	・子ども達の興味が今何にあるのか確認し合い、継続したり、変化を加えたりと話し合いながら行っている。・全体で話し合い決めている。・体験を長期的に積み重ねる視点で活動内容を固定している曜日もある。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1	0	・休日や長期休暇ならではの課題活動を設定し社会体験を重ねられるようにしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	0	・個人の楽しみを深める意識と集団での楽しみを提案する意識をもって取り組んでいる。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	・活動前に必ず打ち合わせをしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1	0	・翌朝の職朝で振り返りを行っている。・長期休暇活動など忙しい時期も振り返りや情報共有が十分できるよう努めたい。

⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1	0	・毎利用日、記録を書いている。・個別支援計画に基づく記録の記載をより意識していく必要がある。
⑱	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	・定期的に面談を行い、支援の状況や子どもの状況把握に努めている。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7	1	0	

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	・基本的にその子どもの担当が出席している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8	0	0	・成長、変化の共有、気がかりな状況への対応についてなど送迎時や連携会議等で担任の先生とやりとりしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				・医療的ケアが必要な子どもは現在利用していない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	4	0	・新入学の利用児がなく、機会がなかったが、必要時は積極的に行いたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	4	2	2	・引継ぎ会議のようなものがあつた方が良いと思う。・必要なときに情報提供をする機会などを設けることができたらと思う。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4	1	・療育手帳の切り替えの際、保護者より受診時の様子、助言の内容等を共有させてもらっている。・研修を受ける機会はあるが、連携を取ることができればと思う。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	1	・地域の公園で出会い、一緒にあそぶことがある。様子を見ながら子ども同士をつなぐことを大切にしたい。・親子活動等できょうだい児との活動、交流を行った。その他でも交流する機会をもちたい。・公園遊び等で一緒になった時はあそびの共有を試みている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	3	・協議会開催の情報など把握に努めたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	6	0	・3月までは月報にて記事を掲載していた。改めて学ぶ機会を設けたい。・令和4年度中にペアレント・トレーニングに関する保護者学習会を設けたい。	

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	・年度初めにオリエンテーションを行い説明している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	0	0	・今年度は保護者同士の交流がもてる行事等を前年度より多く企画し、連携交流の機会を設けた。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	・相談事例等に関しては職員間で情報共有し、対応を検討するようにしている。

③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	・スクラムニュースを月1回発行している。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	7	1	0	
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1	0	
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	2	1	・コロナ禍で以前のように実施することは難しかった。・コロナ禍で難しい状況であるが、地域の民生委員の方々との清掃作業を行うことができた。・地域施設が行う交流展示会に作品をだし参加した。

非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	0	0	・保護者への周知を丁寧に行っていかなければならない。オリエンテーション、ニュース等でより丁寧に発信していきたい。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	・訓練内容を更に充実させて、保護者への連絡訓練なども行っていきたい。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	・定期的に研修を行うとともに、対応に迷いや苦慮した出来事などはすぐ出し合って話し合っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1	0	・同意書という形で保護者に同意を得ている。・計画への記載について検討を深めたい。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2	0	・全ての子ども達のアレルギーに関する情報は確認済みである。・指示書に基づく対応を必要とする子どもは現在いない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	・ヒヤリハットの事例についてはその都度話し合いを行い、状況の確認、対応の検討、共有に努めている。

<事業所向け評価表の結果について>

③現在は必要に迫られる状況にないが、安全への配慮として必要な環境の改善点がないか意識していく。

⑩面談等によるアセスメントは定期的におこなっているが、毎年、年度の初めに記入方式のアセスメントを行うように整備しなおし、実践の工夫改善により活かせるようにしたい。

②③④個別支援計画書などを活用しながら、新入学、卒業等の移行支援に臨みたい。

②⑥③⑦コロナ禍で難しい状況ではあるが、きょうだいの活動参加等の願い、地域と繋がる意義は大きいと感じているため環境の工夫をしながら拡充していきたい。

②⑨今年度中に学習会を計画したい。